

2020年6月19日（金）15時～17時15分

## プラチナ社会研究会 2020年度 第1回総会・セミナー

### ポストコロナとプラチナ社会 —コロナ後のプラチナ社会実現への処方箋—

活動方針発表／基調講演／会員企業・団体からの話題提供／2020年度分科会/プロジェクト紹介 ほか

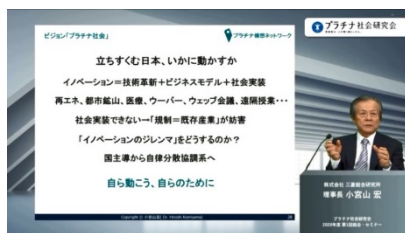
#### Point

- 小宮山理事長が「ポストコロナはプラチナ社会」と述べ、プラチナ社会実現を加速するよう呼びかけた。
- 複雑化する地域の社会課題解決をビジネス化していくため、よりオープンな協働を推進する方針を発表。
- 2021年4月に、100社以上のベンチャー企業を組織する未来共創イノベーションネットワークと活動を一体化。

6月19日、プラチナ社会研究会 2020年度第1回総会・セミナーがオンラインで開催されました。第1部は2020年度活動方針の発表、基調講演。第2部は会員企業・団体からの話題提供、分科会/プロジェクトの紹介。また、未来共創イノベーションネットワーク (INCF) との一体化について報告しました。

#### ▼基調講演「プラチナ社会のイノベーション～コロナを奇貨として未来へ向かおう～」

小宮山理事長はコロナ禍の現状分析から、ポストコロナの世界では、地方が主体と



なる自律分散協調系こそが理想であるとし、それこそが目指すプラチナ社会の形だと語りました。

それは、アイスランドやシンガポールなど「ガバナンスの良い小国」ほど感染を抑制し、死者数も少ないという分析によるもので、日本は一部でガバナンスの弱さを露呈しましたが、「希望は地方自治体にある」と指摘。感染初期の北海道などを挙げ、「地方自治体が行った独自の活動こそが自律分散系。自治体それぞれで良いと思うことを実施し、国はそれを取りまとめ調整する。それこそがプラチナ社会のあるべき姿だろう」と述べました。

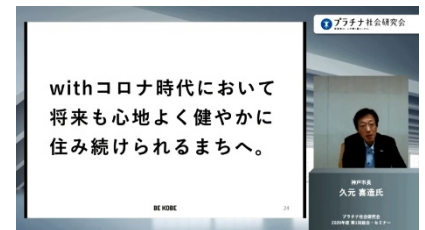
そしてプラチナ社会の理念や取り組むべき活動を紹介し、「ピンチをチャンスに変えるのは今しかない」と、より積極的な参画を促しました。

#### ▼その他のプログラム

会員企業・団体からの話題提供……プラチナ社会研究会と INCF の活動一体化を踏まえ、それぞれ

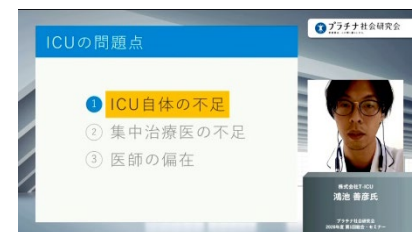
の会員企業・団体からご登壇いただきました。

- ・「with コロナ時代の都市戦略～神戸の挑戦～」(神戸市・久元喜造市長) …「高密度至上主義からの転換」を掲げる神戸市の



の都市戦略を解説。地域資源の再発見と活用による新しい暮らし方・働き方の確立を目指し、「六甲山上スマートシティ構想」など6つの具体的施策案を推進しています。また、コロナの第二波に備える with コロナ対応戦略を、市民の声を元に策定していることも紹介。

- ・「医療の新しいカタチ 遠隔 ICU」(株式会社 T-ICU・鴻池善彦氏) …ICU 専門医による遠隔治療を提供するベンチャーで、INCF



の2018年アクセラレーションプログラムで最優秀賞を受賞。日本のICU医療の課題を解説し、T-ICUの事業を紹介しました。

分科会・プロジェクト紹介……2020年度に活動する9分科会、6プロジェクトから、コロナを踏まえた活動を展開予定の2件を紹介。

- ・「逆参勤交代分科会」
- ・「行政情報標準化・AI活用研究会」

プラチナ社会研究会・INCF 一体統合に向けた期待 (プラチナ社会センター長・柏谷泰隆/オープンイノベーションセンター長・須崎彩斗) ……2021年4月に一体化する予定のINCFの概要の紹介と、一体化後の活動指針を報告。相互乗り入れや具体的な活動の場の組織化を検討しています。